

## スキップフロアの家の作成方法

蔵のある家やスキップフロアなど、フロアが段違いの家を作成する場合、実際のフロアを分割して作成します。例えば、1階、中2階、2階という間取りプランの場合、1階の下部をフロアタブの[1階]、1階の上部と中2階の下部を[2階]、中2階の上部と2階を[3階]という具合に間取りを縦に分割して作成します。プランによっては以下の手順では作成できない場合がございます。

### 完成例

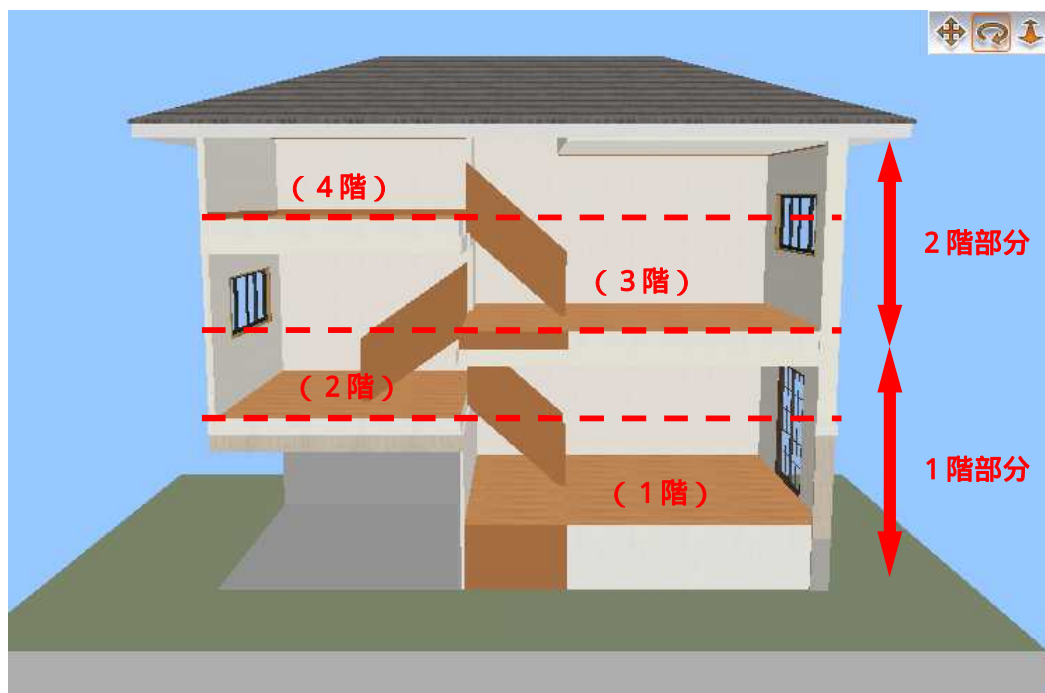


「3DマイホームデザイナーLS2」で作成しております。

対象バージョン 3DマイホームデザイナーPRO6/PRO5/LS3/LS2/マイホームデザイナーLS

## 概要

階高の数値設定を利用して、1フロアの階高を2フロア分の階高で表現します。



( )内はマイホームデザイナーのフロアタブの階数です。

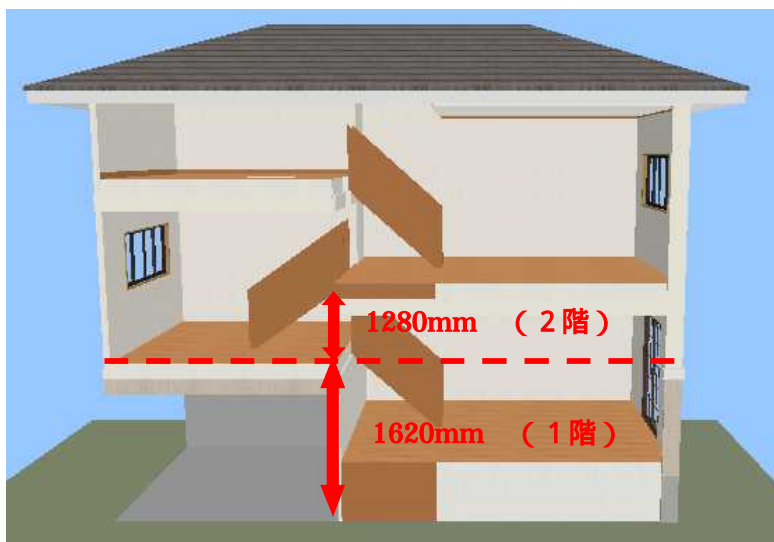
作例では1階の階高 2900mm に対して、1620mm の位置にスキップフロアを配置しております。

**操作 1** スキップフロアに合わせて階高を設定します。

- 1) [設定]-[立体化設定 (外装・内装・屋根・階高)]の[階高・壁厚]タブを開きます。
- 2) ここでは1階の階高をインナーガレージの階高に設定します。
- 3) 2階の階高には実際のプランの階高からインナーガレージの階高の寸法を引いた数値に設定します。  
1階の階高が2900mmの場合、立体化設定では1階を1620mm、2階を1280mmに設定します。

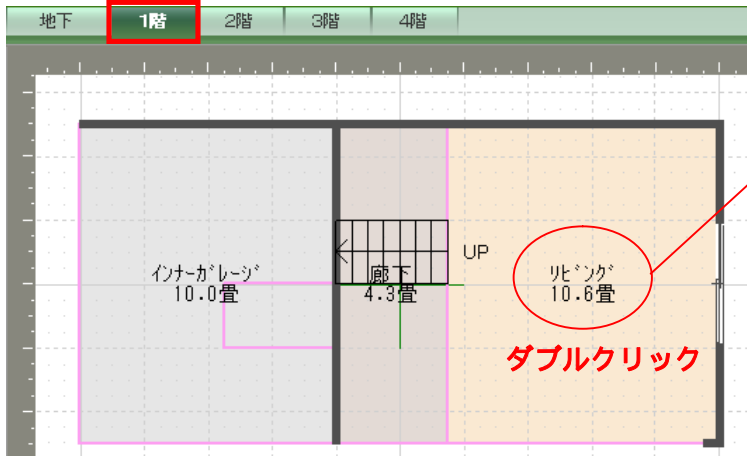


1階の階高寸法を2フロア(1階と2階)の階高寸法の合計で表現します。

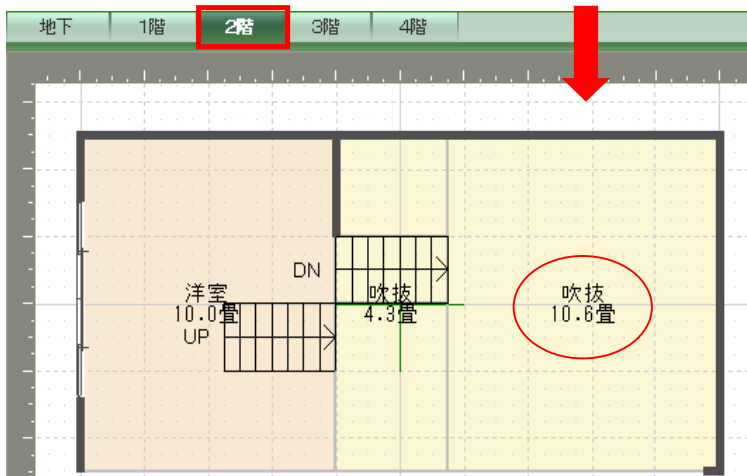


**操作2** 一つの部屋を上下に分けて作成します。

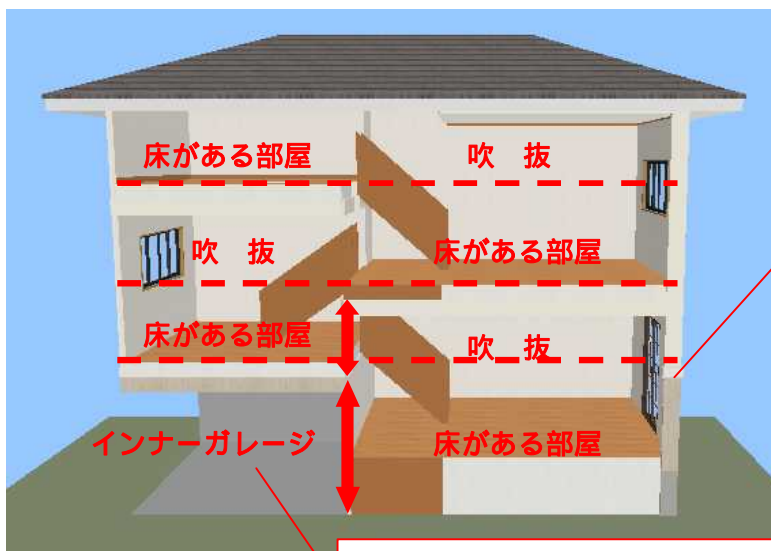
- 1) [1階]フロアタブでインナーガレージとそれぞれの部屋を配置します。
- 2) [2階]フロアタブに切替え、インナーガレージの上階に部屋を配置、1階で部屋を配置した上階には吹抜を配置します。
- 3) 3階・4階でも同様に部屋と吹抜を配置します。
- 4) それぞれ配置した吹抜け以外の[部屋のプロパティ]の[立体化設定]タブで廻り縁のチェックを外します。



部屋のプロパティで廻り縁のチェックを外しておいてください。



部屋の上に吹抜を配置し、1フロアとして表現します。



部屋の腰下部分を床のある部屋で作成します。

次に腰上部分を[吹抜]で作成し、上下合わせて一つの部屋として表現します。

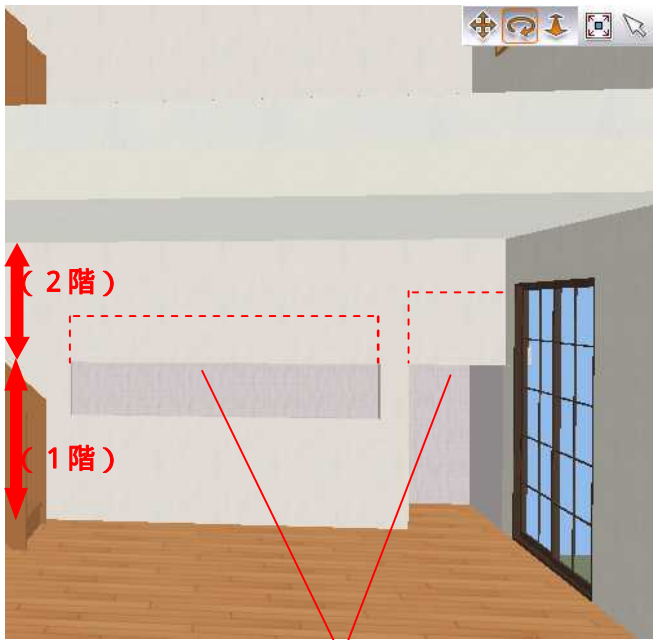
インナーガレージだけは上下に分ける必要はありません。

壁編集について

階をまたぐような壁削除・壁開口をする場合は、データセンターで「開口枠」で検索し、間取り画面で[ドア・窓配置]-[ドアを配置]で[お気に入り]タブに追加してから間取図に配置します。



通常の[壁削除]と[壁開口]で描いたもの



腰下(1階)しか開口できない

[開口枠]を配置したものの

